

～はじまりの季節に こんな本はいかがですか～



『Mr.トルネード』

航空事故を激減させた気象学者 藤田哲也』

佐々木健一

著

皆さんは、飛行機は事故が怖いというイメージはありますか？

現在、飛行機は自動車と比べても死亡事故の確率が大幅に少なく、様々な交通手段の中で最も安全な乗り物といわれています。

しかし、ほんの30年ほど前までは、頻繁に大きな航空事故が起きていました。その原因を解明し、空の安全に多大な功績を残したのが、気象学者の藤田哲也氏です。

彼は、中学時代は天文学に興味を持ちましたが、望遠鏡を買うお金がなかったため、自分で簡易的な観測器を作り、太陽の観測などを行っていました。

その後、渡米し、気象学者となった後も、「**道具を開発する**」「**徹底的に観察する**」という信条のもと、竜巻研究などに大きな業績を残します。

そしてある時、飛行機事故の原因解明の依頼を受け、竜巻研究や渡米前に携わった長崎の原爆調査の経験から、ある仮説を導き出しますが、、、。



・・・ご挨拶・・・4月末をもって任期満了となります。2年間の短い期間でしたが、生徒の皆さん、先生方、保護者の皆様に多大なご協力を頂きました。心より感謝申し上げます。

『本を味方につける本』

永江朗著



著者にとっての読書は、もともと現実逃避からでした。転校生で、勉強もスポーツもぱっとしなかった中学時代、読書をしている間だけはさえない自分を忘れられたそうです。

その後、書店勤務、編集者を経てコピーライターとなった現在、「**たいていの答えは本の中にある**」という確信をもつようになります。

しかし、その一方で「**本を読むより大切なことはたくさんある。役に立たない本、足を引っ張る本もたくさんある**」とも言います。

では、あなたの人生の味方になってくれるのはどんな本？

著者は、読書の効用として「好奇心のトレーニング」「人生のシュミレーション」、「知らなかった自分自身を見つける」ことなどを挙げています。

そんな本と出会うため「ちょっとだけ読む」「ツッコミながら読む」など読み方のアイデアや、「本を読む時間がない」、「登場人物の名前が覚えられない」という人へのお悩みの解決アドバイスも。

気軽に読書の幅を広げたい人にぜひ。

もっと、
本と仲良くなれる！？

『友だち幻想』

菅野仁著

「友だちって何だろう・・・？」
新しい環境となり、友だちとの距離感が難しいなーと感じていませんか。



